

指標

生活満足度に関する指標

《幸福に関する指標の体系》

○総合指標（8 指標）

幸福実感、暮らしの満足といった分野横断的で総合的な実感を把握する指標

○分野指標（7 指標）

分野別計画の各分野に関する実感を把握する指標

○個別指標（35 指標）

各分野に関する具体的な項目について実感を把握する指標

《指標設定の考え方》

- ・本指標は現状を捉え、中長期的な経年変化の把握に活用するものとし、自治体政策の効果検証の対象とする KPI（数値目標）は設定しません。
- ・2024 年度に実施した市民意識調査（アンケート）のうち、総合指標と分野指標は基本計画の指標として実感の平均値を設定し、個別指標は実施計画の指標として設定します。
- ・総合指標のうち、「幸福実感」、「暮らしの満足」、「協調的幸福」については「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とする 11 段階評価としており、その平均値を基準値としています。
- ・その他の総合指標、分野指標については「感じる」を 5 点、「やや感じる」を 4 点、「どちらともいえない」を 3 点、「あまり感じない」を 2 点、「感じない」を 1 点に換算して、その平均値を基準値としています（平均値の算出にあたり「わからない」の回答を除いています）。

《生活満足度に関する指標の体系図》



【総合指標】

指標名	項目	基準値 (2024 年度)
幸福実感	幸せの実感の平均	6. 42
暮らしの満足	暮らしの満足に対する実感の平均	6. 28
協調的幸福	身近なまわりの人や大切な人の幸せに対する実感の平均	6. 21
住みやすさ	これからも浜松市に住み続けたいという実感の平均	4. 05
運動の実施	体を動かしたり運動したりすることができているという実感の平均	2. 93
身体的健康	身体的に健康な状態という実感の平均	3. 30
精神的健康	精神的に健康な状態という実感の平均	3. 39
時間的ゆとり	心が安らぐ時間を持つことができているという実感の平均	3. 53

【分野指標】

分野	指標名	項目	基準値 (2024 年度)
産業経済	経済活動	経済活動（市民の消費、企業の生産活動など）が盛んだという実感の平均	2. 75
こども・教育	こどもを生み育てる環境	こどもを生み育てやすい環境が整っているという実感の平均	2. 91
安全・安心・快適	安全・安心・快適の実感	安全・安心で住みやすいという実感の平均	3. 46
環境・くらし	生活環境の良好度	快適で良好な環境にあるという実感の平均	3. 31
健康・福祉	福祉・医療の充実	福祉・医療の面において安心して生活ができているという実感の平均	3. 31
文化・スポーツ	興味・関心事への取組	興味・関心のあることに取り組むことができているという実感の平均	2. 91
地方自治	地域への愛着	暮らしている地域に対する愛着を持っているという実感の平均	3. 36

成果指標

【産業経済】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	世界を市場とする産業・サービスの創造	市内総生産額	3 兆 931 億円 (2020 年度)	3 兆 7,061 億円
		企業立地決定件数 【2015～累計】	199 (2023 年度)	416
2	スタートアップ・エコシステムの構築	市内企業とスタートアップによる連携（共同研究・実証実験・事業連携・受発注 等）数	3 件	30 件 (累計)
3	国内外に通用する魅力ある地域資源の創造	一人当たり旅行消費額	21,935 円 (2023 年度)	35,500 円
4	もうかる農林水産業の推進	市内の 1 農家当たり農業産出額	3,091 千円 (2022 年度)	4,300 千円

【こども・教育】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	全てのこども・若者が健やかで幸せに成長できるまちづくり	出生数	4,945 人 (2023 年度)	4,778 人
		（子ども・若者総合相談センター）相談者の課題の改善・解消率	-	60.0%
2	自分や浜松の未来を創る人づくり	将来の夢や目標をもっている子供の割合	小 6 85.1% 中 3 68.5% (2023 年度)	小 6 90.0% 中 3 73.0%
		自分の住んでいる地域が好きな子供の割合	93.3% (2023 年度)	95.0%

【安全・安心・快適】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	みんなの力で自然災害から生き残る	自然災害による市民の死亡者数(関連死含む)	1 人 (2023 年度)	0 人
2	市民が集う活力ある都市づくり	居住誘導区域内人口密度	60.6 人/ha	61.5 人/ha
		公共交通分担率	4.3% (2018 年度)	5.0%
3	みどり豊かで、快適なまちづくり	公園をよく利用する人の割合	30.0% (2021 年度)	50.0%
4	災害に強く、安全で快適な社会基盤の構築と強化	浜松市橋梁耐震化計画に基づく橋梁耐震化率	8.2% (2023 年度) 16.0% (2024 年度見込)	100%
		人身交通事故件数	4,999 件 (2023 年度)	浜松市交通安全計画の目標値に準拠
5	いつでも、どこでも、迅速的確に対応する消防・救急体制づくり	火災による死者数(放火自殺者を除く)	6 人 (2023 年度)	0 人
		救急現場における市民による応急手当実施率※	52.9% (2023 年度)	60%
6	健全な水循環に貢献する強靱で安全・安心な上下水道の経営	水道基幹管路の耐震適合率	56.2%	63.2%
		重要施設に係る下水道管路の耐震化率	74.4%	83.5%

※救急現場において市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者に対し、応急手当を実施した割合

【環境・くらし】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現	市域の温室効果ガス排出量	4,302.5 千 t-CO2 (2020 年度)	2744.6 千 t-CO2 (2030 年度)
2	循環共生型社会の実現	ごみ総排出量	197,552t (2023 年度)	193,055t (2028 年度)
		保護地域及び自然共生サイトの面積	53,551ha (2022 年度)	53,700ha (2033 年度)
3	地域コミュニティの充実	協働センター等を核とした地域課題解決事業件数	17 件/年	42 件/年
		県内の刑法犯認知件数に占める市内件数の割合	22.9% (2023 年度)	21.9%

【健康・福祉】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	関係機関との連携による 包括的な支援の推進	困った時に相談先が分からない人の割合	29.8% (2023 年度)	20.0%
		家事支援サービス事業を実施している地区社会福祉協議会数	36 団体 (2023 年度)	47 団体
2	人々の心身の健康を守る 健康づくりの推進と医療 の充実	健康寿命	男性 73.74 歳 女性 76.65 歳 (2019 年度)	男性 74.98 歳 女性 77.94 歳
		本市の受託医療機関に係るデジタル化の達成度	0%	100%
3	健康寿命日本一「ウエルネスシティ（予防・健幸都市）」浜松	健康寿命	男性 73.74 歳 女性 76.65 歳 (2019 年度)	男性 74.98 歳 女性 77.94 歳

【文化・スポーツ】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	文化、芸術、歴史の魅力に触れ、学び、楽しむ機会、場の提供	ユネスコ創造都市ネットワーク報告書（モニタリングレポート）総合評価	非常に満足 (2022 年度)	非常に満足
		文化芸術施設利用者数	4,207,425 人 (2022 年度)	4,300,000 人
2	「する」「みる」「ささえる」でまちを元気にするスポーツの推進	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	浜松市スポーツ推進ビジョン (第 3 期浜松市スポーツ推進計画)策定時に決定	
		成人の年 1 回以上のスポーツ観戦・応援実施率		
		成人の年 1 回以上のスポーツ支援実施率		

【地方自治】

基本政策		指標名	基準値 (2024 年度)	目標値 (2034 年度)
1	市民とともに歩む未来を見据えた行政運営	基本計画の成果指標全体の達成度	全成果指標決定後に算出	
		多文化共生事業の市民満足度	92.5% (2023 年度)	95.0%
2	市民満足度の高い自治体組織と運営の実現	(仮)定員管理計画の策定時に決定		
3	将来像を実現する財政運営、資産経営、財源確保の推進	(仮)中期財政計画の策定時に決定		
		タテモノ資産投資充足率	62.4% (2023 年度 決算値)	90.0%
		インフラ資産投資充足率	82.3% (2023 年度 決算値)	95.0%
4	行政サービスを支える市税の公平公正な課税と収納の推進	現年課税分収入率	99.55% (2023 年度 決算値)	10 月時点 公表不可
5	デジタル活用による安全・安心、便利で快適な市民サービスの実現	Well-being 指標のうち、主観データ「デジタル生活」の偏差値（浜松市全体）	51.5	53.0

個別計画一覧

2025年4月1日現在（見込み）

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
産業経済	○			第2期はままつ産業イノベーション構想	2022年度～2028年度	7年	世界的企業やオンリーワン企業が生まれ育つ都市、新たな事業に挑戦する企業が集積する都市を目指し、経済の再生と持続的な発展を推進するための戦略ビジョン。
産業経済	○	○		（仮）中心市街地活性化ビジョン	2026年度～2044年度	19年	中心市街地における長期的な将来像や具体的施策を定めるもの。
産業経済		○	○	（仮）浜松市中心市街地活性化基本計画	2026年度～2030年度	5年	中心市街地活性化に向け、基本的な方針、目標、指標、計画事業について定めるもの。
産業経済		○		浜松市商業集積ガイドライン	2007年度～	-	浜松市における地域特性に即した商業集積の実現によるまちづくりの推進に関する条例に基づく、まちづくりに関する指針。集客施設の建築等に係る手続き等を定めることにより、都市機能の適正な配置及び合理的な土地利用の促進を図ることを目的とする。
産業経済			○	浜松市認定創業支援等事業計画	2023年度～2028年度	5年	市内の産業支援機関が連携して、創業・新事業展開に取り組む体制を構築し、創業機運の醸成を図りながら新規創業者の増加を目指すもの。産業競争力強化法第128条第1項に基づく計画。
産業経済		○		地域未来投資促進法に基づく第2期静岡県浜松市基本計画	2024年度～2028年度	5年	浜松地域の特性である成長ものづくり分野のほか、ヘルスケア分野、農林水産分野、環境・エネルギー分野、観光資源を活用した観光分野などの多様な事業に取り組む地域企業を支援することで、複合的な産業構造の構築と持続的な産業成長の実現を目指すもの。
産業経済	○	○		浜松市農業振興ビジョン	2025年度～2034年度	10年	農業行政におけるマスタープランと位置付け、あるべき姿を示すとともに、体系的な施策の展開を図り、総合的、計画的に推進するための指針となる計画。
産業経済	○	○		浜松農業振興地域整備計画	2020年度～2029年度	10年	農業振興地域の整備に関する法律に基づく、農業振興地域内の優良農地の保全と計画的な農業振興施策の実施に関する計画。
産業経済	○	○		浜松市農村環境計画	2011年度～	-	農業地域の美しい景観や、そこに棲む生き物たちを取り巻く自然環境を守り育てていくために、地域の環境に総合的に配慮した農村整備事業の進め方を示す指針。
産業経済	○			農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想	2023年度～	-	農業経営基盤強化促進法に基づき県が策定した基本構想に即し、地域の実情を踏まえて、本市の農政推進のための目標を取りまとめた構想。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
産業経済	○			浜松市森林・林業ビジョン	2007年～2037年	30年	森林の多面的な機能を高め、森林資源を有効活用するため、森林・林業のあるべき姿（将来像）や森林経営・管理の方向性などを明らかにしたビジョン。
こども・教育		○	○	（仮称）浜松市こども計画	2025年度～2029年度	5年	こども基本法に基づく「少子化社会対策」「子ども・若者育成支援」「子どもの貧困対策の推進」に関する計画。
こども・教育		○	○	浜松市立幼稚園・保育園の適正化等に関する方針	2023年度～	-	こどもたちにとって、より望ましい幼児教育・保育環境を実現することを目的に、社会動態や保育需要の変化に適応し、地域性等にも配慮した、持続可能で質の高い幼児教育・保育を実現するため、今後の市立幼稚園・保育園の方向性（考え方）を示す方針
こども・教育	○	○	○	第4次浜松市教育総合計画	2025年度～2034年度	10年	目指すこどもの姿の具現化に向けて、家庭や地域、園・学校、行政が一体となって推進していく施策・取組を体系的にまとめたもの。
こども・教育		○	○	（仮）浜松市小中学校整備適正化方針	2025年度～2044年度	20年	新しい時代に対応した高機能で安全・安心な教育環境の構築をはじめ、老朽化した施設の効率的・効果的な再生・活用や、災害時の防災機能など、多様な社会的課題に対して一体的に整備を進めるうえでの理念や基本的な考えを示すもの。
安全・安心・快適			○	浜松市地域防災計画	1963年～	-	災害対策基本法に基づき、本市の総合的な防災行政の整備と推進を図るための計画（毎年度更新）。
安全・安心・快適			○	浜松市国民保護計画	2006年度～	-	国民保護法及び静岡県国民保護計画に基づき、武力攻撃事態等から国民の生命、身体及び財産を保護するため、措置及び実施体制等について定めた計画。
安全・安心・快適			○	浜松市国土強靱化地域計画	2018年度～2027年度	10年	「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」の第13条に基づき、大規模自然災害が発生しても致命的な被害を負わない「強さ」と、速やかに回復する「しなやかさ」を併せ持つ「強靱な浜松」のまちをつくるための施策を総合的・計画的に推進する指針としての計画。
安全・安心・快適		○	○	浜松市津波防災地域づくり推進計画	2014年度～	30年	津波防災地域づくりに関する法律に基づき、将来起こりうる津波被害を防止・軽減するため、本市の津波対策とまちづくりの具体的な姿を総合的に定めた計画。
安全・安心・快適			○	浜松市地震・津波対策アクションプログラム2023	2023年度～2032年度	10年	「静岡県第4次地震被災想定」、「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023」に基づき、地震対策及び津波対策に資する個別アクションについて具体的な取組及び達成すべき数値目標、達成時期を定めた計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市都市計画マスタープラン	2020年度～2045年度	25年	都市計画区域マスタープランに即して、市町村の範囲における地域に密着した都市計画の基本的な方針。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
安全・安心・快適	○	○		浜松都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）	2015年度～2035年度	20年	都市計画法に基づく、都市計画区域を対象として広域的知見から定める都市計画の基本的な方針。
安全・安心・快適	○	○		浜松市立地適正化計画	2018年度～2048年度	27年	都市計画マスタープランの一部として、都市機能や居住の立地を市街地の一定の区域に誘導するための計画。
安全・安心・快適	○	○		国土利用計画浜松市計画	2010年度～2017年度 継続活用	-	国土利用計画法に即して、長期にわたって安定した均衡ある国土の利用を確保することで、安心して暮らせる地域社会の形成を目的とした計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市景観形成基本計画	2010年度～	-	良好な景観を保全・育成・創出するための理念や目標、方針などを示す基本計画。
安全・安心・快適		○	○	浜松市景観計画	2009年度～	-	景観法に基づき、地域別の景観形成基本方針や良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項などを示すとともに、景観重点地区を定めている計画。
安全・安心・快適		○	○	浜松市歴史的風致維持向上計画	2022年度～2031年度	10年	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律に基づき、歴史的なまちなみと一体となって、風情・情緒・たたずまいのある良好な市街地の環境を維持・向上させ、後世に継承していくための計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市総合交通計画	2010年度～2030年度	20年	広大な市域を有機的に結ぶ総合的な交通体系を構築するための交通計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市耐震改修促進計画	2021年度～2026年度	5年	建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づき、県の耐震改修促進計画との整合性を図りつつ、市内の建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための計画。
安全・安心・快適	○	○	○	浜松市住生活基本計画	2022年度～2031年度	10年	住生活基本法の理念や住生活基本計画（全国・県計画）に即して、市民の安全・安心で豊かな住生活の実現に向けた具体的な取組を実行することで、市民の住生活の安定の確保及び向上の促進に資することを目的とした計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市緑の基本計画	2021年度～2030年度	10年	都市緑地法に基づき、緑の現状や多様なニーズを踏まえ、緑地の保全や緑化の推進について、取り組むべき施策を定めた「みどり」政策の基本となる総合的な計画。
安全・安心・快適			○	浜松市都市計画公園整備プログラム	2025年度～2034年度	10年	公園整備に着手する時期を明確にすることで、関係権利者の不安を軽減し、計画的な土地の利用に資するため、市の現状や市民ニーズを把握し、効果的・効率的となるよう公園整備の優先順位を示したものの。
安全・安心・快適	○	○		浜松市のみちづくり計画	2025年度～2034年度	10年	道路を取り巻く環境、浜松市の将来像・関連計画、市民ニーズを踏まえ、「つかい、つくり、まもる」の観点からみちづくりの基本方針を定めた計画。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
安全・安心・快適	○	○		浜松市交通安全計画	2021年度～2025年度	5年	国・県の交通安全計画に基づき、陸上交通の安全に関する長期的な施策の大綱及び交通の安全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市自転車走行空間等整備計画	2013年度～	-	社会資本整備方針の主要事業「地域を支える道路関係事業」に再掲された自転車利用環境の整備に関する施策を総合的・計画的に推進するための計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市自転車活用推進計画	2020年度～2029年度	10年	自転車活用推進法第11条に基づき、国及び静岡県 of 自転車活用推進計画を鑑みつつ、これまで各個別計画で実施していた自転車の活用に関する取組みを、浜松市の実情に応じた自転車の活用に関する基本的な方針や施策として位置付けた自転車施策の総合的な計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市道路施設管理基本方針	2023年度～	-	道路施設の効率的・効果的な防災・減災、老朽化対策を推進し、道路管理の最適化を図るための基本方針。
安全・安心・快適			○	浜松市地籍調査事業計画	2010年度～2039年度	20年	国土調査法に基づく調査、測量を行い、地籍の明確化を図る事業を効果的に実施するための計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市川づくり計画	2025年度～2034年度	10年	安全で安心して暮らせる川づくりの実現を目指し、河川の将来あるべき姿とその実現に向けた当面の河川整備の方向性を定めた計画。
安全・安心・快適			○	浜松市総合雨水対策計画2024	2024年度～2033年度	10年	今後増加する水災害リスクに対し、被害の軽減、被害からの早期復旧を目指し、10年間で整備すべきハード、ソフト対策を含めた総合的な雨水対策の方針を示した計画。
安全・安心・快適	○	○		浜松市上下水道基本計画	2025年度～2034年度	10年	上下水道事業が目指す方向や取組内容などを示す上下水道一体の計画。
環境・暮らし			○	浜松市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	2024年度～2030年度	7年	浜松市域から排出される温室効果ガスを、市民・事業者・市がそれぞれ求められる役割を果たしながら、相互に連携して削減するための計画。
環境・暮らし			○	浜松市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	2024年度～2030年度	7年	市の事務事業から排出される温室効果ガスを、市自らが全庁を挙げて削減するための計画。
環境・暮らし	○			浜松市バイオマス産業都市構想	2013年度～2030年度	18年	豊富なバイオマス資源のエネルギー利用と関連産業の活性化を推進していくための計画

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
環境・くらし	○	○		第3次浜松市環境基本計画	2025年度～2034年度	10年	目指す環境の将来像を明らかにするとともに、実現するための施策の基本的方向を示し、環境の保全と創造に関する施策を総合的、計画的に展開するための計画。
環境・くらし			○	生物多様性はままつ戦略2024	2024年度～2033年度	10年	市域の生物多様性の保全と持続可能な利用に関する基本方針や具体的施策を定め、体系的・総合的に推進するための計画。
環境・くらし		○	○	浜松市一般廃棄物処理基本計画	2022年度～2028年度	7年	一般廃棄物と生活排水の処理に係る基本方針や将来的な処理方法と処理施設の整備について具体的な政策を示し、廃棄物の適正な処理の実現を目指す計画。
環境・くらし	○	○		浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画	2025年度～2034年度	10年	浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例に基づき、地域の防犯意識を高めるとともに、身近で起きている犯罪を抑制する整備を行い、安全で安心なまちづくりを推進するための計画。
環境・くらし	○	○		第二次浜松市空家等対策計画	2022年度～2034年度	13年	住民の生活環境に悪影響を及ぼす可能性がある空家問題に対し、市の取り組みを体系的に整理し推進するための計画
環境・くらし	○	○		浜松市消費者教育推進計画	2021年度～2025年度	5年	消費者教育推進法第10条第2項の規定に基づき、消費者教育の推進に関する基本的な方針及び静岡県消費者教育推進計画を踏まえ、浜松市における消費者市民社会の形成をめざし消費者教育を推進するための計画。
環境・くらし	○			浜松市市民協働を進めるための基本指針	2019年度～	-	多様な主体によるまちづくりを実現するため、3つの柱を定めて取組みの道筋を示すとともに、4つの主体（市民、市民活動団体、事業者、市）の将来像を示した市民協働を進めるための基本指針。
環境・くらし		○	○	第3次浜松市中山間地域振興計画	2025年度～2029年度	5年	中山間地域が抱える課題に向き合い、地域の魅力や資源をいかし、持続可能な地域づくりを進めるため、個人や各種団体、企業、行政などが中山間地域の将来像を共有し、実現するための指針と具体的な事業を示す計画。
環境・くらし		○		浜松市過疎地域持続的発展計画	2021年度～2026年度	6年	過疎法に基づく過疎地域で各種施策を総合的かつ計画的に推進することで、魅力あるまちづくりと活力ある市民生活の実現を図る計画
環境・くらし		○	○	区政運営方針	2025年度～	1年	区における10年後の将来像とそれに向けたまちづくりの基本方針を定めた計画。
環境・くらし		○	○	第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画	2022年度～2034年	13年	誰もが自らの考えで選択し、自由に社会参画し、いつまでも安全かつ安心して快適に暮らすことができるまちとなるように、市民、事業者、市が協働してユニバーサルデザインによるまちづくりを総合的に推進するための計画。
環境・くらし		○	○	第4次浜松市男女共同参画基本計画	2025年度～2029年	5年	すべての人が性別にかかわらず個人として尊重され、自らの意思により個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の形成の推進に関する施策を総合的、計画的に推進するための計画。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
健康・福祉	○	○		地域福祉計画	2024年度～2028年度	5年	年齢や障がいの有無等に関わりなく、誰もが住み慣れた地域で自立し安全・安心に暮らせる地域づくりに向け、住民、福祉サービス事業者、行政等が連携して取り組めるよう、地域福祉の方向性を示した計画。
健康・福祉		○		人権施策推進計画	2025年度～2029年度	5年	一人ひとりがかかけがえない存在であることを認識し、多様性を認め合い、人権を尊重する社会の実現を目指すもの。
健康・福祉		○	○	第10次浜松市高齢者保健福祉計画・第9期浜松市介護保険事業計画（はままつ友愛の高齢者プラン）	2024年度～2026年度	3年	老人福祉法と介護保険法に基づき、高齢者に関する保健福祉事業や介護保険制度の円滑な実施を図ることを目的として、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に策定した計画。
健康・福祉		○		第4次浜松市障がい者計画	2024年度～2029年度	6年	障がいのある人の自立及び社会参加のための施策を、総合的かつ計画的に推進するもの。
健康・福祉			○	第7期浜松市障がい福祉実施計画・第3期浜松市障がい児福祉実施計画	2024年度～2026年度	3年	障害福祉サービス及び障害児通所支援等が計画的に提供されるよう、成果目標の設定および各サービス等の見込み量を定めるもの。
健康・福祉		○	○	浜松市国民健康保険第3期データヘルス計画、第4期特定健康診査・特定保健指導実施計画	2024年度～2029年度	6年	国民健康保険法に基づき、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることを目的とした「データヘルス計画」と、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する事項を定めた「特定健康診査・特定保健指導実施計画」を一体的に策定した計画。
健康・福祉	○	○	○	第四次浜松市自殺対策推進計画	2024年度～2028年度	5年	自殺対策基本法に基づき、本市の自殺者の減少を目指すための計画。
健康・福祉	○	○	○	第3次浜松市がん対策推進計画	2024年度～2029年度	6年	がん患者とその家族を含めた市民一人ひとりが、がんを正しく理解し、予防と早期発見に取り組むことを目指して定めた計画。
健康・福祉		○	○	浜松市病院経営強化プラン	2023年度～2027年度	5年	持続可能な地域医療体制を確保するため、本市の3病院が担うべき役割・機能と経営強化の方向性を定めた計画。
健康・福祉	○	○	○	健康はままつ21	2024年度～2035年度	12年	市民の健康づくりを総合的に推進するために「第3次浜松市健康増進計画」「第2次浜松市歯科口腔保健推進計画」「第4次浜松市食育推進計画」を一体的に策定した計画。
健康・福祉		○	○	浜松市感染症予防計画	2024年度～2029年度	6年	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある感染症の発生及びまん延に備えるため、感染症対策の一層の充実を図る計画。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
健康・福祉		○	○	浜松市新型インフルエンザ等対策行動計画	2014年度～	-	新型インフルエンザ等対策の実施に関する基本的な方針や各発生段階における対策を定めた計画。
文化・スポーツ	○			浜松市文化振興ビジョン	2020年度～2030年度	10年	本市のこれからの文化振興施策の方向性を示すとともに、文化芸術にかかわる様々な主体が本市の文化振興の担い手として活躍するための道しるべとなるビジョン。
文化・スポーツ	○			浜松市生涯学習推進大綱	2025年度～	-	市民の生涯学習活動推進を目的として、本市の役割と基本的な方向性や考え方を示し、事業展開の指針とするもの。
文化・スポーツ	○	○		浜松市図書館ビジョン	2018年度～2028年度	10年	地域に根ざした情報拠点としての図書館の役割と目指す方向性を示した計画。
文化・スポーツ		○	○	浜松市子供読書活動推進計画	2022年度～2031年度	10年	子どもの読書活動を推進するために、施設の方向、推進・支援体制の整備、本市の重点目標などについて総合的に示した計画。
文化・スポーツ	○	○	○	浜松市文化財保存活用地域計画	2021年度～2030年度	10年	本市における文化財の特徴をまとめるとともに、文化財の保存と活用の方針や今後実施する具体的事業を定め、歴史・文化・自然を活かしたまちづくりを進めることを目的とする計画。
文化・スポーツ	○			「創造都市・浜松」推進のための基本方針	2013年度～	-	創造都市の意義を明確にするとともに、目指す創造都市の姿や実現のための取り組みイメージを示すもの
文化・スポーツ		○	○	浜松市スポーツ推進ビジョン (第3期浜松市スポーツ推進計画)	2025年度～2029年度	5年	従来のスポーツ振興とともに、年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もがスポーツを楽しむインクルーシブスポーツが文化として定着しており、スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能することにより市民の活力が生まれ、にぎわいが創出されているまちを推進するためのビジョン。
地方自治	○	○	○	(仮) 浜松市地方創生総合戦略	2025年度～2029年度	5年	浜松市総合計画を基本とし、本市の特色を活かした地方創生の考え方や取組を定め、人口現状分析及び推計人口を示した人口ビジョンと地方創生SDGsに関する取組の計画を一体的に策定した計画。
地方自治	○			浜北副都心構想	2009年度～	-	新市建設計画にて、浜北地域が都市機能集積ゾーンに位置付けられたことから、都心機能を補完する副都心として、整備のイメージや求められる機能などを定めた構想。
地方自治	○	○		第3次浜松市多文化共生都市ビジョン	2023年度～2028年度	6年	価値創造型の多文化共生都市・浜松の実現を目指して策定した「協働」「創造」「安心」の3つの柱からなる計画。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
地方自治	○	○		第3次浜松市国際戦略プラン	2025年度～2029年度	5年	持続可能な発展を目指し、庁内横断的かつ官民の協働により国際分野に戦略的に取り組む計画。
地方自治		○		地域日本語教育推進方針	-	-	本市の日本語教育施策推進の指針として、地域日本語教育推進に向けた考え方や方向性を示したもの。
地方自治			○	浜松市地域日本語教育推進アクションプラン	2023年度～2027年度	5年	地域日本語教育推進方針をより具体的かつ確実に進めるため、具体的なアクションやKPI等を定めたもの。
地方自治		○	○	(仮) 定員管理計画	2025年度～2029年度	5年	適正な組織体制と定員管理の下、災害対応や社会環境の変化に柔軟に対応できる組織づくりや持続可能な都市経営を行うための計画。
地方自治	○			(仮称) 浜松市職員人材育成・確保基本方針	2025年度～※終期は設定なし ※現方針を2025年3月に改定予定	-	職員の人材育成、人材確保、職場環境整備について、基本的な方針を示すもの。
地方自治		○	○	浜松市行政経営推進プラン	2020年度～2029年度	10年	より厳しさを増す社会経済情勢において、市民福祉の向上や都市の活力維持を目指し、組織や事業のあり方について常に先手を打ち見直しを進め、自由度の高い経営資源を確保するための計画。
地方自治		○		浜松市民間活力の導入に関する基本方針	2017年度	-	公共サービスの質の向上と効率化を実現し、住民福祉の増進、財政健全化、市内経済の持続的かつ安定的な成長に寄与することを目的に、市全体の事業バランスや地域性等を考慮し、「民間でできることは民間に」の考えに基づき、民間事業者等の知恵・資金等を有効活用した「民間活力の導入」を推進するための基本方針。
地方自治	○	○		(仮) 中期財政計画	2025年度～2034年度	10年	中期的な財政運営の見通し、目標などを定める計画。
地方自治		○	○	浜松市公共施設等総合管理計画	2025年度～2034年度	10年	市が保有する全ての資産を対象に、資産の見直しや活用、運営管理、処分などに関するプロセス全般を資産経営と位置づけ、資産経営を長期的かつ着実に推進するための計画。
地方自治		○	○	浜松市公共建築物長寿命化指針	2017年～	-	「浜松市公共施設等総合管理計画」に基づき、市が保有する公共建築物（タテモノ資産）の改修を計画的に実施して建築物の長寿命化を図り、長期的な財政負担の軽減・平準化と市民への安全で快適な建築物の提供を目的とする指針。
地方自治		○	○	(仮) 浜松市公共建築物長寿命化計画（一般施設）	2025年度～2034年度	10年	「浜松市公共施設等総合管理計画」及び「浜松市公共建築物長寿命化指針」に基づき、市が保有する公共建築物（一般施設）の改修を計画的に実施して建築物の長寿命化を図り、長期的な財政負担の軽減・平準化と市民への安全で快適な建築物の提供を目的とする計画。

分野	レベル			計画名称等	計画年度	計画期間	内容
	構想	基本計画	実施計画				
地方自治		○	○	浜松市公共建築物ユニバーサルデザイン基本計画	2007年度～	-	「第3次浜松市ユニバーサルデザイン計画（U ゆうプランⅢ）」の基本理念である『思いやりの心が結ぶ優しいまち』の実現に向けた、公共建築物のユニバーサルデザインに関する基本的な計画。
地方自治	○			（仮）浜松市デジタル・スマートシティ構想	2025年度～2029年度	5年	デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第1項に基づきデジタルの力を最大限活用し、「（仮）Well-Beingの向上」と「都市の最適化」を目指すもの。
地方自治	○			（仮）浜松版MaaS構想	2025年度～2029年度	5年	モビリティと各種サービスの連携による持続可能なまちづくりを推進するための指針。
地方自治			○	（仮）浜松市DX推進計画	2025年度～2029年度	5年	デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第2項に基づきデジタル・ガバメント（電子行政）や官民のデータ活用を効果的に推進し取組を加速するもの。

分野ごとの計画数

分野名	計画数
産業経済	11
こども・教育	4
安全・安心・快適	26
環境・くらし	15
健康・福祉	12
文化・スポーツ	7
地方自治	18
合計	93

用語集

用語	解説	該当ページ
アーバンスポーツ	都市での開催が可能なものとして、音楽、ファッションなど遊び感覚の高い若者文化とともに進化するもの。ボルダリング、BMX、スラックライン、パルクール、トランポリン、スケートボード、3×3などがあるが、特に種目などを限定するものではない。	32
アセットマネジメント	公共施設、インフラ、土地などの資産を効率的に管理・運用する手法のこと。	63
医療DX	電子カルテ、遠隔診療、電子処方せん、マイナ保険証など、デジタル技術を活用して医療サービスの質と効率を向上させる取り組みのこと。	43, 47
インクルーシブスポーツ	年齢、性別、国籍、障がいの有無などを問わず、誰もが楽しめるスポーツ環境のこと。	51, 55
イノベーション	技術の革新にとどまらず、これまでとは全く違った新たな考え方、仕組みを取り入れて、新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすこと。	13, 14, 15, 17, 37, 38, 39, 49
インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。	14, 18
インフラ	インフラストラクチャーの略称で、和訳すると「社会資本」。社会資本とは道路や水道といったライフラインをはじめ、河川や鉄道、空港など、私たちの暮らしを支える施設。	9, 33
ウェルビーイング	身体的、精神的、社会的に良好な状態のこと。WHO憲章において健康の定義として記載されている。	4, 25, 57, 58, 65
エンゲージメント	仕事に対してやりがいや誇りを持つとともに、働くことで活力を得られている充実した心理状態。	65
オープンイノベーション	組織のイノベーションを促進するために、内部と外部の技術やアイデアを積極的に活用し、新しい価値を創り出すこと。	14, 15
ガーデンツーリズム	複数の庭園がテーマのもとに連携することで、より個性を際立たせ、それぞれの良さを発揮できるように磨き上げを図り、魅力的な体験や交流を創出する取組。	32
カーボンニュートラル	二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理等による「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	8, 37, 38, 39
介護ロボット	介護が必要な方の自立支援や、介護する側の負担軽減に役立てられるロボット機器。センサー等により周囲の状況を判断した上で作動する機械システムのことを指す。	46

用語	解説	該当 ページ
ガストロノミー	その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れること。	18
ガバナンス	透明・公正かつ迅速・果斷な意思決定を行うための仕組み。	61
官民連携プラットフォーム	医療機関、大学、商工会議所をはじめとした関係団体、金融機関、民間企業と浜松市が参画し、相互に連携・協力し浜松ウエルネスプロジェクトを推進する組織のこと。	43
キャッシュレス	お札や小銭などの現金（キャッシュ）を使用せずにお金をはらうこと。	30
教育のDX	教育に関するデータやデジタル技術を活用することで、児童生徒への教育や教職員の事務作業などを変革すること。	21
緊急輸送道路	災害直後から、避難・救助をはじめ、物資供給等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線で、高速自動車国道や一般国道及びこれらを連絡する基幹的な道路のこと。	33
グローバル・サウス	アフリカ、アジア、ラテンアメリカ、中東など南半球や北半球の南部に位置する新興・途上国のこと。日米欧など北半球に多い先進国に比べ、人口の増加率や経済成長率が高く、世界の政治・経済をリードする存在として注目を集める。	15
グローバル・スタートアップ・キャンパス	2028年度以降、世界中から優秀な研究者や起業家、投資家を招き、知恵と資源を結集して、新たなスタートアップの創出を目指すため、東京の都心（渋谷・目黒）に設立される拠点のこと。	17
ゲートキーパー	悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。誰もがゲートキーパーとしての意識を持つことが大切とされる。	48
健康経営優良法人	従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる企業として、経済産業省から認定を受けた大企業や中小企業等の法人のこと。	43, 49
健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。	8, 43, 44, 45, 49
高度人材	我が国の産業にイノベーションをもたらすとともに、日本人との切磋琢磨を通じて専門的・技術的な労働市場の発展を促し、労働市場の効率性を高めることが期待される人材のこと。	8, 13
交流人口	ある地域に訪れる人々のこと。地域に住んでいる人（定住人口又は居住人口）に対する概念であり、訪れる目的は通勤・通学、買い物、習い事、スポーツ、観光、レジャーなど特に内容を問わない。	18
こども家庭センター	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関のこと。	23

用語	解説	該当ページ
子ども・若者総合相談センター	子ども・若者育成支援に関する相談に応じ、関係機関の紹介、その他の必要な情報の提供及び助言を行う拠点のこと。	24
コンテンツツーリズム	地域に関わるコンテンツ（映画、テレビドラマ、小説、マンガ、ゲームなど）を活用して、観光と関連産業の振興を図ることを意図したツーリズムのこと。	18
コンベンション	いわゆる国際会議であり、学会や産業団体、さらには政府等が開催する大規模な会議のこと。	18
サーベイランス	感染症の発生動向調査のこと。感染症の発生情報を把握、分析し、その結果を国民や医療関係者へ迅速に提供・公開することにより、感染症の予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止する。	48
三遠南信	愛知県東部の東三河地域を「三」、静岡県西部の遠州地域を「遠」、長野県南部の南信州地域を「南信」とした、3県の県境にまたがる地域のこと。	8, 59
シティプロモーション	地域の魅力を内外に発信し、その地域へヒト・モノ・カネを呼び込み地域経済を活性化させる活動のこと。	14, 18
自主防災隊	おおむね自治会単位の地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識に基づき、自主的に結成する防災組織のこと。	29
自然共生サイト	国（環境省）が認定する、民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域のこと。企業の森、ビオトープ、自然観察の森、里地里山、社寺林などが候補となる。	40
社会的包摂性	支援を必要とするこども（障害、不登校、日本語能力など）を含め、誰一人取り残すことなく支援して支えていくこと。	25
社会福祉協議会	地域福祉の推進を目的として、住民ニーズ・課題の明確化、関係機関・団体等の組織化や連絡調整の活動等を行う社会福祉法に規定された民間団体のこと。	45
循環型社会	廃棄物等の発生抑制、循環資源（廃棄物等のうち有用なもの）の循環的な利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。	37, 38
循環共生型社会	環境を軸とした環境・経済・社会の統合的向上への高度化を図り、環境収容力（地球が安定的な状態を維持するために人間の活動が及ぼす影響について地球環境が許容できる限界）を守り、環境の質を上げることによって経済社会が成長・発展できる社会のこと。	8, 38, 40
上下水道一体	令和6年能登半島地震以降、上下水道施設について、浄水場、浄化センター等の施設や、避難所等の重要施設に接続する上下水道管路等の耐震化により、災害時においても水道、下水道の機能確保を図ることが求められており、水道に比べて下水道の復旧が遅れ、水道が使用できないことなどがないように備えること。	36

用語	解説	該当ページ
消防職団員	消防職員と消防団員の総称のこと。 消防団員とは、通常は各自の職業（学生含む）に従事しながら火災などの災害が発生したときは「自らの地域を自ら守る」という郷土愛護の精神をもって活動している特別職の地方公務員（非常勤）。	27, 28, 35
消防通信ネットワーク	衛星・無線・電話・インターネットなど、複数の通信手段を活用することで、119番通報などの緊急通報を受信し、迅速かつ確実に情報を伝達し、消防活動を支援するための通信の仕組みのこと。	35
食農教育	食のもつ多彩な役割の重要性を伝える「食育」に加えて、食を支えている農業についての知識や体験などを含む教育のこと。	19
自立相談支援機関	経済的な事情により生活にお困りの方からの相談を総合的に受け付け、生活困窮状態からの脱却や課題解決に向けた伴走型支援を行う機関のこと。	45
スタートアップ	革新的な技術やビジネスアイデアを持ち、社会課題の解決などを通じて社会に新しい価値を提供することにより、短期間での飛躍的な成長を目指す企業のこと。	8, 13, 14, 15, 17
スタートアップ・エコシステム	シリコンバレーで生まれた言葉であり、起業家、起業支援者、企業、大学、金融機関、公的機関等が結び付き、スタートアップが次々と生まれ、それがまた優れた人材・技術・資金を呼び込み、発展を続ける環境を生態系になぞらえた呼称。	13, 14, 17
スマート農林水産業	ロボット技術やICT等の先端技術を活用し、省力化とともに安定的な収量・品質を可能とする農林水産業のこと。	19
脱炭素	カーボンニュートラルと同義で使われる。カーボンニュートラルとなった社会を脱炭素社会と呼ぶ。	8, 32, 37, 38, 39
男女共同参画	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うこと。	29, 38, 41
地域支援看護師	医師会への委託等により、本市の中山間地域に配置された看護師で、地域住民への健康教育・健康相談活動、オンライン診療補助、地域の多職種連携会議への助言などの役割を担う看護師のこと。	47
地域スポーツ	学校や地域の単位でスポーツに親しむことができる環境のこと。	55
地域包括ケア	高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができることを目指した、地域の包括的な支援・サービスのこと。	47
特定外来生物	海外から人間によって持ち込まれた外来生物であり、生態系や人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から国が法律で指定した生物のこと。指定された生物は、輸入、野外への放出、飼育、栽培、保管及び運搬等が禁止される。	40

用語	解説	該当 ページ
特定健診	生活習慣病の予防のために、医療保険者が実施主体となり、40歳から74歳の加入者を対象に行われる健康診断のこと。	46
特別市（特別自治市）	広域自治体（都道府県）に含まれない一層制の地方公共団体で、現行の指定都市が担う事務及び道府県が指定都市の市域内において担う事務を処理するもの。道府県がもつ市町村の連絡調整機能や補完機能はもたないが、圏域において他の基礎自治体との連携の中心的な役割を担う。	59
独立採算の原則	公営企業の経営に要する経費は、経営に伴う収入（料金）をもって充ててることを原則とする考え方。	36
ネイチャーポジティブ	自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させること。	37
バックキャストिंग	目標となる将来の理想の姿を想定し、その姿から現在を振り返り、今すべきことを定める考え方のこと。	2, 4
バックヤード	窓口などのフロントヤードを支える内部処理・内部事務のこと。例えば、証明書の請求については、申請情報のシステムへのデータ入力や確認、審査、発行、入金処理などがバックヤード業務にあたる。なお、こうした内部事務を、デジタル化や集約化により効率化することを「バックヤード改革」と呼ぶ。	65
パラスポーツ	パラは「並行する」の意で、「もう一つの」スポーツを表すもの。身体機能や知的発育などに障害がある人が行うスポーツ。	55
ハラスメント	業務上必要かつ相当な範囲を超える言動や性的な言動など、相手に精神的若しくは身体的な苦痛を与え、人格や尊厳を不当に傷つけること。	61
バリアフリー	障壁（バリア）となるものを除去し、生活しやすくすること。	30, 32
ハローワーク	仕事探しや雇用に関するさまざまなサービスを提供する国の就職支援機関	45
ビッグデータ	利用者が急速に拡大しているソーシャルメディア内のテキストデータ、携帯電話・スマートフォンに組み込まれたGPS（全地球測位システム）から発生する位置情報、時々刻々と生成されるセンサーデータなど、ボリュームが膨大であると共に、構造が複雑化することで、従来の技術では管理や処理が困難なデータ群。	33
人と動物の共生する社会	市民の動物に対する愛護意識が高まり、動物の健康や安全が保持されるとともに、動物による人の生命、身体及び財産が侵害されることがなく、生活環境が保全されている社会のこと。 ここでいう「動物」とは、「浜松市動物の愛護及び管理に関する条例」で定義されている、人が飼養又は保管をしている動物であって、哺乳類、鳥類又はは虫類に属するものを指す。	48

用語	解説	該当ページ
病診連携	浜松医療センターにおいて、地域の診療所等から患者紹介を受入れ、適切な診断・治療が終了したのち患者を再び診療所等に移行するなど病院・診療所間の連携。	47
病病連携	浜松医療センターにおいて、急性期の治療が終了した患者を速やかに回復期、慢性期病院に移行するための病院間連携	47
フィルムコミッション	映画やドラマ、CMなどの撮影誘致や撮影支援を行う事業。	18
ブルーカーボン	大気中の二酸化炭素から、海草や海藻などの海の生物によって吸収された炭素のこと。	19
プレコンセプションケア	若い男女が将来のライフプランを考え、自分の生活や健康に向き合うことが、次世代のこどもの健康にもつながるというヘルスケアのこと。	47
フロントヤード	「住民と行政との接点」の総称。近年は従来の対面窓口に加え、スマホやコンビニ、リモート窓口、仮想空間（メタバース）など、多様化している。なお、利用者起点で住民と行政の接点から仕事のやり方を総合的に変えていくことを「フロントヤード改革」と呼ぶ。	65
ボトムアップ	現場の職員の意見を積極的に吸い上げ、それをもとに意思決定していく方式。	9
水循環	水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水又は地下水として河川の流域を中心に循環すること。上下水道事業は、川や地下水から水を取り浄水して広く配水し、使われた水を集め浄化して川などの自然に戻すまで、自然の水循環の一部を使用して行われている。	27, 28, 36
メンタルヘルス	心の健康状態のこと。「生活の質」に影響するとされている。	48, 61
ユニークベニユー	歴史的建造物や公的空間で会議・レセプションを開催することにより、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。	18
ユネスコ創造都市ネットワーク	文学、映画、音楽、芸術などの分野において、都市間でパートナーシップを結び相互に経験・知識の共有を図り、またその国際的なネットワークを活用して国内・国際市場における文化的産物の普及を促進し、文化産業の強化による都市の活性化及び文化多様性への理解増進を図ることを目的に平成16年（2004年）に創設されたネットワーク。浜松市は平成26年（2014年）12月に、音楽分野においてアジアで初めて加盟した。	53
ライフコースアプローチ	成人期における疾病やリスクの予防を、胎児期、乳幼児期から成人期、高齢期までつなげてアプローチすること。	47
リ・スキリング	新しい職業に就くため、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適応するために、必要なスキルを獲得すること。	15

用語	解説	該当 ページ
流域治水	河川流域全体のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる治水対策のこと。	34
レクリエーション スポーツ	楽しみ、健康、交流を求めて、主として自由時間に行う諸活動で、社会的活力を生むためのスポーツ。	55
ワークライフバランス	仕事と生活の調和のこと。 仕事と生活の調和が実現した社会は「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされる。	15
AI	人口知能の略称。コンピューターの性能が大きく向上したことにより、機械であるコンピューターが「学ぶ」ことができるようになった。	33
DMO	地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりの司令塔となる法人のこと。 (Destination Management/Marketing Organization (観光地域づくり法人))	18
DX	ICTの浸透により、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。	8, 21, 43, 46, 47
EBPM	政策の目的を明確化したうえで、合理的根拠に基づいて政策を企画立案すること。(Evidence Based Policy Making (証拠に基づく政策立案))	59
FSC® 森林認証	森林が適切に管理されていることを第三者機関が全世界統一の基準に沿って審査、認証するもの。それらの森林から生産された木材や木材製品へ認証ラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて持続可能な森林経営を支援する制度であり、違法伐採や保護する価値の高い森林の伐採を防ぐ効果的な仕組み。(Forest Stewardship Council® (森林管理協議会))	19
HACCP	食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因(ハザード)を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。 (Hazard Analysis Critical Control Point (危害分析重要管理点))	47
HUB機能	HUBとは、車輪やプロペラなどの中心にある部品や構造のこと。転じて、中心地、結節点、集線装置などの意味で用いられる。 結節点という意味から、患者にとって切れ目のない医療を安心して受けていただくために、地域の医療施設をスムーズにつなぐ機能。	48
ICT	情報や通信に関する技術の総称。日本では同様の言葉としてIT(Information Technology: 情報技術)の方が普及していたが、国際的にはICTがよく用いられている。 (Information and Communication Technology (情報通信技術))	16, 19, 46

用語	解説	該当 ページ
MaaS	地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービス。観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となる。（Mobility as a Service（サービスとしての移動））	30
MICE	企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。	18
NPO	「Non-Profit Organization」又は「Not-for-Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、団体の構成員に対し、収益を分配することを目的としない団体の総称。また、このうち、特定非営利活動促進法に基づき法人格を取得した法人を、「特定非営利活動法人（NPO法人）」と言う。	29
6次産業化	農林漁業者（1次産業）が、加工（2次産業）や販売（3次産業）などを行う経営の多角化や、他産業者（2次産業、3次産業）と連携して行う取組のこと。	19